

【第十回】日本語試験にチャレンジしよう！

- ・解答用紙はHPからダウンロードできます。URL: <http://www.kiv.or.jp>
- ・実習生がらの解答用紙を各企業様にて取りまとめていただき、FAX 等で月末までに本部事務局に送っていただきます。
(連絡先 FAX078-796-3620 又はメールにて各担当者まで)
- ・最高得点者の中から抽選で1名にQUOカード1,000円分をプレゼント！

問題1 次の()に入る最も適切なものを、次の1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 問1 腐っても()
※価値あるものは多少条件が悪くてもそれなりの価値はあるということ
1. 鯛 2. 鰯 3. 鮪 4. 秋刀魚
- 問2 弘法も()の誤り
※どんなに優れた人物でも失敗することはあるということ
1. 鉛筆 2. ペン 3. 筆 4. 文字
- 問3 知らぬが()
※知ったら腹が立つようなことでも知らないままでいれば平気ではいられること
1. 僧 2. 仏 3. 神 4. 念
- 問4 朱に交われば()くなる
※人は付き合う友人や周りの環境によって良くも悪くもなるものだということ
1. 黄色 2. 赤 3. 青 4. 白
- 問5 と取らぬ()の皮算用
※まだ決まっていないことを当てにして計画を立てたり利益を考えたりすること
1. 狸 2. うさぎ 3. 鹿 4. 虎
- 問6 ()の背比べ
※どれも似たようなものばかりで大した違いがないこと
1. 銀杏 2. 杏 3. どんぐり 4. まつぼっくり

問題2 次の★に入る最も良いものを、次の1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 問1 彼はまるで()★()話した。
1 かのよう 2 ついて 3 その事故に 4 見ていた
- 問2 「合格(ごうかく)おめでとうございます。」
「ありがとうございます。先生が()★()です。」
1 教えて 2 丁寧(ていねい)に 3 おかげ 4 くれた
- 問3 荷物が()★()てもらう。
1 ホテルに 2 届き 3 届け 4 次第

問題3 ()に意味が最も近いものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 問1 彼に、時計を奪(うば)われた。
1 もらった 2 買ってもらった 3 盗まれた 4 買ってあげた
- 問2 人混みを避(さ)けて、道路を歩(ある)く。
1 帰る 2 よける 3 集める 4 向かう
- 問3 日頃のお礼として、今日は私が()。
1 運転する 2 歌う 3 支払う 4 手伝う
- 問4 夕方に、洗濯物を干(ほ)します。
1 洗う 2 かたづける 3 たたむ 4 乾かす
- 問5 今月の売り上げは、先月を()。
1 増える 2 減る 3 同じ 4 2倍になる
- 問6 明日の準備を終わらせてから寝(ね)ましょう。
1 食事 2 用意 3 節約 4 経験

問題4 ()に入れるのに最も良いものを、次の1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 問1 あなたは、()りんごが好きなのですか？
1 誰が 2 なぜ 3 いつ 4 何個
- 問2 父は、めったに家に帰(かえ)って()。
1 来ません 2 来るでしょう 3 来ます 4 来るはず
- 問3 ()、明日は熱が出るかもしれません。
1 かならず 2 あとで 3 全然 4 ひょっとしたら
- 問4 彼女はとても嬉(うれ)しそうです。どうやら試験に合格(ごうかく)した()。
1 はずです 2 ようです 3 ところです 4 ばかりです

問題5 以下の文章を読んで問題に答えなさい。

私はどちらかといえば根(ね)が楽天的(らくてき)だが、昔(むかし)は営業(えいぎやう)の強烈(きやうれつ)なノルマ(注1)に苦しんだところもある。そういう日々の中(なか)からいつしか身につけたことのひとつが「幸せ(しあわせ)のハードル(注2)を低(ひ)くする」だった。

たとえば、あと一歩(いっぽ)のところで契約(けいぎやく)が結(むす)ばなかった日(ひ)、会社(かいしゃ)に戻(かえ)ってしょげかえる(注3)代わりに「あの社長(しやうちやう)と一時間(いちじかん)も話(わ)せるところまで来た」と自分の成果(せいこく)を見つけて評価(ひやうか)する。そうやって一日(いちにち)を締め(しめ)くれば(注4)、明日(あした)への活力(かつりき)も湧(わ)いてきた。

仕事(しごと)そのものも、「仕事(しごと)は趣味(しゆみ)や遊び(あそび)とはちがう。仕事(しごと)はお金(かね)をもら(もら)うのだから、楽しくないことがあっても当たり前(あたりまえ)」と思ってやってきた。そこを基準(きせん)にすれば、少々(しょうしょう)のことは当然(たうぜん)のこととして受け入れられるし、何か(なにか)いいことがあったときは「お金(かね)をもらいながらこんな気持ち(きもち)を味わ(あじ)えるなんて」と幸せ感(しあわせかん)も倍増(ばいぞう)する。

どうせ人生(じんせい)の一定(いってい)の時間(じかん)を仕事(しごと)に費(つ)やすのなら、その仕事(しごと)が楽しいと思(おも)える方が(かた)いいに決(き)まっている。それに楽しいと思(おも)っていることは、何か(なにか)とスムーズ(スムーズ)に連(つ)び効果(こうか)もあるものだ。こうして好循環(こうじゆんかん)が生ま(う)れてくる。

人はたの(たの)しいから笑顔(えがほ)を作(つく)ると、それによって楽しい気持ち(きもち)が湧(わ)いてくる」という研究結果(けんきゆうけいこく)があるという。これにならえば、充実感(じゆじつかん)を得(え)られる仕事(しごと)を手(て)にするには、たの(たの)しい仕事(しごと)を探(さが)すのも大事(だいじ)だが、小さなことでも楽し(たの)しめるようになることも意外(いがい)にあな(あな)だれない(注5)ポイントだ。

(高城幸司『上司につける楽！ーマネジメント入門』による)

- (注1) 強烈なノルマ：厳(きび)しい条件(じゆうけん)で頼(たの)まれる仕事(しごと)
(注2) ハードル：この文章(ぶんしょう)では、「基準(きせん)」という意味(いみ)
(注3) しょげかえる：ひどくがっかりする
(注4) 締めくく：終(お)える
(注5) あなだれない：軽視(けいし)できない

- 問 この文章(ぶんしょう)で筆者(ひんしや)の言(い)いたいこと(こと)は何か(なにか)。
- 1 仕事(しごと)も精(せい)いっぱい頑張(がんば)ればそれだけ充実感(じゆじつかん)を得(え)ることができる。
2 仕事(しごと)もまず表情(ひやうしやう)を意識(いしぎ)することで楽しい気持ち(きもち)が湧(わ)いてくる。
3 自分(じぶん)が本当(ほんとう)に好きな仕事(しごと)であれば笑顔(えがほ)で楽し(たの)むことができる。
4 小さいこと(こと)に喜(よろこ)びを持(も)つことで楽しく仕事(しごと)ができるようになる。